

以下、PW-AC890で動作確認した。

必要なもの

| 名称 | ファイル名 | ダウンロード先 | 備考 |
|--|-------------------|---|--|
| Task Switcher for SHARP Brain Ver 1.3 | tswbrain13.zip | http://henteko.pa.land.to/myapp.html#tswbrain | 日本語表示対応に必要。 |
| Japanese Input for SHARP Brain Ver 1.4 | jpibrain14.zip | http://henteko.pa.land.to/myapp.html#jpibrain | 日本語入力に必要だが、ceOpenerとInputSwitchでもよい。 |
| EBPocket professional 3.04 | ebppc304.zip | http://www31.ocn.ne.jp/~h_ishida/EBPocket.html | 2GB超のWikipediaのEPWing辞書に対応するために64bit版が必要。 |
| MSCEInf Version 2.6 English Version | MSCEInfEn.zip | http://www.codeppc.com/telechargements/msceinf/msceinf.htm | Windows CE用のcabファイルの解凍に必要だが、TestCEでもよい。 |
| aygshell.dll | aygshell.dll | http://www.mediafire.com/?dnbmn5mnimc | EBPocketの起動に必要なダミーDLL。 |
| Wikipedia(ja)0129Lite | Wikip0129Lite.exe | http://sites.google.com/site/boookends/ | Wikipediaのカラー図版なしEPWing辞書。カラー図版ありのWikipedia(ja)0129でもよい。 |

手順

上記のファイルをダウンロードし、作業用フォルダ(例"C:\TEMP"など)内に保存する。

以下、解凍したファイルを展開されたフォルダが保存されている作業用フォルダのパスは"C:\TEMP"であるとする。

"C:\TEMP\tswbrain13.zip"、"C:\TEMP\jpibrain14.zip"、"C:\TEMP\ebppc304.zip"、"C:\TEMP\MSCEInfEn.zip"の4個のファイルを"C:\TEMP"フォルダ内に解凍する。

"C:\TEMP\tswbrain"、"C:\TEMP\jpibrain"、"C:\TEMP\ebppc304"、"C:\TEMP\MSCEInfEn"の4個のフォルダが作成されたことを確認する。

"C:\TEMP\MSCEInfEn\MSCEInf.exe"を実行する。

"C:\TEMP\ebppc304\cabs64bit\EBPocket_64bit.WM5PPC_ARM.CAB"をMSCEInfのウィンドウにドロップする。

MSCEInfのウィンドウの上部のジッパーが付いたフォルダのマークのアイコンのボタンをクリックし、表示されたダイアログでOKボタンをクリックする。

"C:\TEMP\ebppc304\cabs64bit"フォルダ内に"Program Files"フォルダ、"Windows"フォルダ、"EBPocket.inf"の3個が作成されたことを確認する。

"C:\TEMP\ebppc304\cabs64bit\Program Files\EBPocket"フォルダ内の"EBPocket.exe"を"AppMain.exe"にリネームする。

"C:\TEMP\ebppc304\cabs64bit\Program Files\EBPocket"フォルダ内にテキストファイルを新規作成し、そのファイルを"index.din"にリネームする。

"C:\TEMP\ebppc304\cabs64bit\Program Files\EBPocket"フォルダ内に"C:\TEMP"フォルダ内の"aygshell.dll"をコピーする。

"C:\TEMP\tswbrain\msgothic.bat"を実行する。

"C:\TEMP\tswbrain\jptahoma.bat"を実行する。

"C:\TEMP\tswbrain\Task Switcher\fonts"フォルダ内に"msgothic.ttc"と"jptahoma.ttc"が作成されたことを確認する。

microSDカードをコンピュータに接続し、そのドライブのパスは"X:"であるとする。

"C:\TEMP\Wikip0129Lite.exe"を実行し、解凍された"Wikip0129Lite"フォルダを"X:"内にコピーする。

"X:"にフォルダを新規作成し、そのフォルダを"アプリ"にリネームする。

"X:\アプリ"フォルダ内に"C:\TEMP\ebppc304\cabs64bit\Program Files"フォルダ内の"EBPocket"フォルダをコピーする。

"X:\アプリ"フォルダ内に"C:\TEMP\jpibrain"フォルダ内の"Japanese Input"フォルダをコピーする。

"X:\アプリ"フォルダ内に"C:\TEMP\tswbrain"フォルダ内の"Task Switcher"フォルダをコピーする。

microSDカードをコンピュータから取り外し、BrainのmicroSDスロットに挿入する。

BrainのライブラリーのカードのアプリからTask Switcherを起動する。

BrainのライブラリーのカードのアプリからJapanese Inputを起動する。

BrainのライブラリーのカードのアプリからEBPocketを起動する。

以下、各アプリの説明書に従って操作する。

EBPocket professionalの初回起動時から30日が経過すると使用できなくなるが、Brain本体をリセットすることで30日間を超えて使用可能であるが、作者であるhishida氏に感謝の意を込めてライセンスの購入を勧める。